

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
2023年度(令和5年度)事業報告

自:2023年4月1日

至:2024年3月31日

1. 第13回定時社員総会

期日:2023年5月29日(月)

会場:東京理科大学森戸記念館第1フォーラムにてオンライン会議を併用して開催した。

議事:

(1) 2022年度(令和3年度)事業報告並びに決算報告, 剰余金処分の件, 会計監査報告の承認に関する件

(2) 2023年度(令和4年度)事業計画並びに予算案の承認に関する件

(3) 表彰 担当:表彰委員会(委員長:若尾真治)
次の方々に各学会賞を贈り表彰した。(敬称略)

1) 2022年度 功労賞

小西正暉(太陽光発電技術研究組合 元キヤノン)

2) 2022年度 最優秀論文賞・太和田賞

標題「Imp, Vmp 常時監視によるPV性能評価・動作診断技術」
掲載号 Vol. 48, No. 3(269号)
菱川善博, 吉田正裕, 千葉恭男(産業技術総合研究所)
岡島敬一(筑波大学)

3) 2022年度 押田賞

標題「環境調和型PV/Tソーラーパネルの導入によるゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の提案」
掲載号 Vol. 48, No. 2(268号)
寺島康平, 佐藤春樹(慶応義塾大学)

4) 2022年度 論文賞

標題「Geシート粒径制御技術を用いた多結晶GaAs膜のプラスチックフィルム上合成」
掲載号 Vol. 48, No. 4(270号)
西田竹志(筑波大学)

5) 2022年度 奨励賞(一般部門) 該当なし

6) 2022年度 奨励賞(学生部門) 9編

標題「Bのイオン注入法によるp-BaSi₂膜の作製および太陽電池応用」
青貫 翔(筑波大学)
標題「エネルギー効率向上のための蓄電システムの導入によるディーゼル発電小規模実験」

野田靖仁(静岡大学)

標題「PV電力平滑化制御による電力系統の需給制御への影響評価」
中橋大河(岡山大学)

標題「夏季のオープンクーリングによる住宅の室内気候その1 札幌にあるモデル住宅の実測調査」

熊谷菜花(札幌市立大学)

標題「Experimental study on insulation performance of structured-core transparent vacuum insulation panels for different core materials」

Erkki Hirvonen(北海道大学)

標題「2重の複合放物面を持つ太陽集光器の最適設計」
富井滉介(東京農工大学)

標題「Auto-Encoderを用いたエリアPV出力予測における時系列情報の導入に関する一考察」

森 友輔(早稲田大学)

標題「パラメータアンサンブルによる予測値のばらつきを用いた日射量予測大外し予見」

河合美咲(名古屋大学)

標題「ヘルシナイト多孔体による炭酸ガス熱化学分解実験」
小山佳子(新潟大学)

7) 2022年度 若手研究発表会奨励賞 2編

標題「大粒径InGaAs膜のプラスチック上合成技術と近赤外分光感度の実証」
西田竹志(筑波大学)

標題「部分影の移動に伴うFFの変化に基づく短絡故障バイパスダイオードの検出」
祐森 柁(津山工業高等専門学校)

2. 理事会

第77回理事会 2023年5月15日

第78回理事会 2023年7月4日

第79回理事会 2023年9月11日

第80回理事会 2023年11月15日

第81回理事会 2024年1月15日

第82回理事会 2024年1月30日(メール審議)

第83回理事会 2024年3月7日

第84回理事会 2024年5月8日

3. 各種委員会活動

3.1 事業委員会(委員長:佐川耕平)

(1)「電気自動車・燃料電池車・ソーラーカー製作講習会—新たな発想で創造する力を培う—」

2024年2月24日東海大学品川キャンパス オンライン併用開催 参加者:243名

3.2 広報委員会(委員長:桶真一郎)

(1)「第18回再生可能エネルギー世界展示会」(協賛)

2024年1月31日~2月2日 東京ビックサイト
アカデミックコーナーに出展し研究発表会や出版物の紹介・無償配布を行った。

(2) HPにイベントカレンダー機能を追加した。会員専用HPでは過去の研究発表会発表の全資料がダウンロードできるようになった。2022年度以降の研究発表会講演論文集をJ-Stageで一般公開した。

(3) ウェブメディア「みんなの試作広場」に掲載されていた「太陽エネルギー利用の基礎知識(10回連載)」は、(株)日立ハイテクノロジーズのHPに新たに掲載された。

(4) 教育委員会による動画教材「学習・教育用ライブラリー／入門編2：再生可能エネルギーとその起源」をHPに掲載した。

(5) 教育委員会による伊藤研究室（福井大学）・桶研究室（津山工業高等専門学校）の研究室紹介ビデオをHPに掲載した。

3.3 学会誌編集委員会（委員長：城石英伸）

(1) 学会誌「Journal of Japan Solar Energy Society（太陽エネルギー）」発刊

Vol. 49, No. 3 275号 2023年5月（92頁）

Vol. 49, No. 4 276号 2023年7月（124頁）

Vol. 49, No. 5 277号 2023年9月（104頁）

Vol. 49, No. 6 278号 2023年11月（100頁）

Vol. 50, No. 1 279号 2024年1月（94頁）

Vol. 50, No. 2 280号 2024年3月（112頁）

以上、通巻275号から280号を発行した。

(2) 「研究論文」「技術論文」を「研究論文」に統合し、新たに査読1回の「技術報告」のカテゴリーを新設した。

(3) 研究論文・技術報告は9編を掲載した。

(4) 太陽光発電部会・関西支部セミナーの講演要旨、各部会対応の学会誌特集記事を掲載した。

3.4 研究発表会運営委員会（委員長：野村裕宗）

(1) 2023年度日本太陽エネルギー学会研究発表会を以下のとおり開催した。

開催日：2023年11月16日（木）～17日（金）

会場：エブノ泉の森ホール（泉佐野市）

参加登録者数：160名 一般講演論文：97件

見学会：2023年11月15日（水）参加者20名

泉佐野市長滝水上太陽光発電所/犬鳴山七宝瀧寺

(2) 2024年度研究発表会開催地

会場：札幌市立大学芸術の森キャンパス

開催日：2024年11月2日（土）～3日（日）

見学会：2024年11月1日（金）

懇親会：2024年11月2日（土）

3.5 学会活性化委員会（委員長：植田 譲）

若手研究者に自由な発表の場を提供することを目的として第4回若手研究発表会を以下のとおり開催した。

2023年7月28日（金）オンライン開催 参加者34名

11名の発表者の中から若手研究発表会奨励賞を3名に授与した。（各賞受賞者は別掲）

3.6 表彰委員会（委員長：若尾真治）

(1) 2023年度の奨励賞は一般部門4件、学生部門42件の申請に対して以下の通り選考し推薦した。

奨励賞（一般部門）は1名を選考し推薦し承認された。

奨励賞（学生部門）は11名を選考し推薦し承認された。

(2) 功労賞は1名を選考し推薦した。

(3) 論文賞については3編を選考し推薦した。

(4) 学会賞は応募なし。

（各賞受賞者は別掲）

3.7 国際交流委員会（委員長：松原弘直）

(1) KSES との交流再開として2023年KSES 秋季大会に太陽光発電部会から講演者1名を派遣した。

3.8 教育委員会（委員長：大竹秀明）

(1) 学習・教育用ライブラリーとして「入門編Ⅱ：再生可能エネルギーとその起源」を2023年11月に公開した。

(2) 研究室紹介として「福井大学 伊藤研究室」および「津山工業高等専門学校 桶研究室」をHPで公開した。

3.9 脱炭素社会推進会議（担当理事：太田 勇）

(1) 定例会議へ参加した。

4. 部会活動

4.1 太陽熱部会（部会長：原 人志）

(1) 第18回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラムにおける太陽熱分野に関する企画運営協力（2024年1月22日～30日/オンライン）

(2) 部会を11月に開催し今後の活動について協議した。

(3) ソーラー建築ガイドブックへの編集協力。

(4) 予定していた「エコプロ2023」出展は中止した。

4.2 太陽光発電部会（部会長：宮本裕介）

(1) 第35回セミナー「太陽光発電とAIの基礎・応用」2023年4月17日オンライン開催 参加者：66名

(2) 第36回セミナー「太陽光発電設備のガイドライン策定にかかる実証実験」

2024年1月25日オンライン開催 参加者：47名

(3) 学会誌の特集記事として「太陽光発電とAIの基礎・応用」特集を276号に企画した。

4.3 光化学・バイオマス部会（部会長：渡邊康之）

(1) 学会誌の特集記事として「バイオマス・廃棄物資源の燃焼技術」を275号に、「人工光合成の進展」を278号に企画した。

4.4 ソーラー建築部会（部会長：太田 勇）

(1) ソーラー建築に特化したガイドブック作成と講座立ち上げを企画し、出版に向けた準備を継続している。

(2) 学会誌の特集記事として「災害時における住宅のレジリエント性能」を278号に企画した。

4.5 風力・水力部会（部会長：吉田茂雄）

(1) 風力・水力部会 講演会・見学会

CIREn 洋上風力分科会との共催 2024年3月7日

リーガロイヤルホテル小倉 参加者11名

(2) 学会誌の特集記事として「海洋再生可能エネルギーの動向・展望」を276号に、「洋上風力発電の動向・展望」を277号に企画した。

4.6 100%再生可能エネルギー部会（部会長：秋澤 淳）

(1) 「再生可能エネルギーを活用するコージェネと地域熱供給」セミナー 2023年7月19日

東京理科大学森戸記念館 参加者31名

(2) 「100%再エネ時代に向けて地域と共生する太陽光発電」合同シンポジウム 共生エネルギー社会実装研究

所との共催 2023年10月18日

日比谷図書文化館 大ホール 参加者20名

(3) 研究発表会におけるオーガナイズドセッションの企画 2023年11月16日

泉佐野市エブノ泉の森ホール 参加者約20名

(4) 移動体 (FCEV、EV) 電力融通×V2Xによる社会基盤の構築～事例紹介・見学会～ 2023年12月12日

福島ミドリ安全いわき支店 参加者5名

(5) 学会誌の特集記事として「再生可能エネルギーを活用するコージェネと地域熱供給」を279号に企画した。

4.7 地域脱炭素部会 (設立発起人: 秋澤淳)

(1) 2024年1月15日の理事会で設立申請され、新規部会として承認された。

5. 関西支部の活動 (支部長: 原田真宏)

(1) 幹事会

第1回幹事会: 2023年4月21日

第2回幹事会: 2023年7月28日

第3回幹事会: 2024年1月18日

(2) 見学会 大和ハウス工業(株) 住まいまるごと体験館・奈良工場 2023年9月8日 参加者19名

(3) 研究室探訪 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス

2023年9月26日 参加者12名

(4) 2023年度関西支部シンポジウム

「カーボンニュートラルに向けた社会動向と技術開発」

2023年12月18日 大阪公立大学 文化交流センター 参加者: 39名

本シンポジウムの講演内容を学会誌275号の特集記事として企画した。

6. 会員推移

今年度の会員数推移は下記の通りとなった。

・当期(2023年度)新入会員

個人会員23名, 学生会員39名, シニア会員4名

・2024年4月1日の会員数

終身会員 17名

個人会員 447名

学生会員 43名

シニア会員 30名

合計 537名

学校会員 1校

団体会員 32団体

2023年(令和5年)度一般会計収支報告

自:2023年4月1日

至:2024年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 A	実 績 B	B/A (%)	増 減 (▲:減)	備 考
前年度繰越金	4,023,694	4,023,694	100.0%	0	
会費					
団体	4,600,000	4,650,000	101.1%	50,000	1社退会, 3社入会
個人	5,844,000	5,574,600	95.4%	▲ 269,400	
シニア	206,400	149,800	72.6%	▲ 56,600	シニア125,800, 終身24,000
学校	10,000	10,000	100.0%	0	
学生	606,000	438,000	72.3%	▲ 168,000	
入会金	180,000	63,000	35.0%	▲ 117,000	
(小計)	11,446,400	10,885,400	95.1%	▲ 561,000	
学会誌					
学会誌購読料	348,000	374,414	107.6%	26,414	定期購読・バラ売り
学会誌広告掲載料	501,400	643,200	128.3%	141,800	2022年分の未収金を含む
論文掲載料他	1,100,000	585,000	53.2%	▲ 515,000	目標20編に対して論文数11編
(小計)	1,949,400	1,602,614	82.2%	▲ 346,786	
研究発表会					
登録費	1,850,000	1,431,000	77.4%	▲ 419,000	参加者160名(昨年から24名増)
見学会・懇親会他	340,000	353,000	103.8%	13,000	見学会20名、理事会懇親会11名、懇親会50名
論文集・展示・広告	56,000	30,200	53.9%	▲ 25,800	
協賛金・助成金	200,000	242,284	121.1%	42,284	助成金, 企業展示
(小計)	2,446,000	2,056,484	84.1%	▲ 389,516	
各種事業・部会等					
部会セミナー・講演会	620,000	456,500	73.6%	▲ 163,500	PV部会2回296,000
関西支部	110,000	88,004	80.0%	▲ 21,996	100%RE部会156,500, 若手研発4,000
ソーラーカー講習会	600,000	626,900	104.5%	26,900	シンポジウム参加費88,000, 利息4講習会
その他出版物	5,000	8,061	161.2%	3,061	562,000 広告64,900
(小計)	1,335,000	1,179,465	88.3%	▲ 155,535	点検ガイドライン
雑収入					
著作権料・利息等	10,000	5,116	51.2%	▲ 4,884	著作権料:4,818 受取利息:298
総会懇親会他	150,000	48,000		▲ 102,000	
表彰資金積立取崩し	200,000	200,000		0	
雑収入	0	0		0	
(小計)	360,000	253,116	70.3%	▲ 106,884	
当年度収入計	17,536,800	15,977,079	91.1%	▲ 1,559,721	
合計	21,560,494	20,000,773	92.8%	▲ 1,559,721	

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算 A	実 績 B	B/A (%)	増 減 (▲:減)	備 考
委員会費					
理事会・委員会	50,000	43,244	86.5%	▲ 6,756	役員選挙郵送費
総会・懇親会	300,000	209,299	69.8%	▲ 90,701	会場借料22K 総会懇親会83k, 講演謝金39K
表彰費	350,000	436,398	124.7%	86,398	功労賞25k 奨励賞104k 論文賞259k その他47k
(小計)	700,000	688,941	98.4%	▲ 11,059	
学会誌					
制作費	3,365,000	3,604,645	107.1%	239,645	274号～280号 105頁/号
原稿料	400,000	560,000	140.0%	160,000	特集記事(280頁)
校閲料	0	0		0	
郵送料	527,000	518,244	98.3%	▲ 8,756	郵送料
(小計)	4,292,000	4,682,889	109.1%	390,889	
会費・協賛金	123,500	123,500	100.0%	0	ソ振協120k 協会けんぽ3.5k
研究発表会					
J-Stage掲載(新規)	407,000	416,260	102.3%	9,260	
見学会・懇親会	250,000	329,000	131.6%	79,000	見学会82k 懇親会247k
開催費	570,000	568,303	99.7%	▲ 1,697	会場244k 出張費162kk 講演謝金27k その他
(小計)	1,227,000	1,313,563	107.1%	86,563	
各種事業・部会等					
部会セミナー・講演会	200,000	91,965	46.0%	▲ 108,035	PV部会35k, 100%RE部会57k
関西支部	270,000	184,480		▲ 85,520	幹事会98k, シンポジウム開催費37k, 研究室探訪40k
ソーラーカー講習会	317,000	309,848	97.7%	▲ 7,152	製本費249k ウェビナー117k 謝金15k 弁当12k
その他	2,400,000	0	0.0%	▲ 2,400,000	ソーラー建築部会出版費用支出繰越し
(小計)	3,187,000	586,293	18.4%	▲ 2,600,707	
維持経費					
通信・郵送費	340,000	309,018	90.9%	▲ 30,982	郵便155k 電話:154k
宣伝費・HP維持費	283,500	143,143	50.5%	▲ 140,357	HP維持費138K, 展示会出展交通費6K
借室料	1,560,000	1,560,000	100.0%	0	室料:130,000/月
光熱費	101,000	93,975	93.0%	▲ 7,025	電気76k 水道18k
リース料	750,000	891,694	118.9%	141,694	複写機302k 通信機156k サーバ344k その他90k
保険料	63,290	65,460	103.4%	2,170	業務災害補償保険
消耗品・複写料	142,510	59,643	41.9%	▲ 82,867	消耗品30k Copy30k
雑費	50,000	44,711	89.4%	▲ 5,289	会費引落し手数料, 振込手数料他
表彰資金積立	0	0			
貸倒損失	0	135,800		135,800	2022年度の会費回収不能額
(小計)	3,290,300	3,303,444	100.4%	13,144	
人件費					
職員給与	6,200,000	6,342,505	102.3%	142,505	給与
福利厚生費	61,000	120,530	197.6%	59,530	法定福利費
通勤交通費	258,000	296,565	114.9%	38,565	
その他	0	19,415		19,415	弔慰金(谷フェロー)
(小計)	6,519,000	6,779,015	104.0%	260,015	
法人税等	70,000	70,000	100.0%	0	法人税70,000
税理事務所報酬	528,000	528,000	100.0%	0	
(小計)	598,000	598,000	100.0%	0	
当年度支出計	19,936,800	18,075,645	90.7%	▲ 1,861,155	ソーラー建築部会の出版先送りを除くと539k円の支出増
財産増減額	▲ 2,400,000	▲ 2,098,566		301,434	ソーラー建築部会の書籍製作遅延のため予算上±0の収支に対して, 実質(特別会計込)▲2,043,970の赤字

2023年(令和5年)度特別会計収支報告

自:2023年4月1日

至:2024年3月31日

1. 出版事業

収入の部

科目	予算	実績	増減
前年度繰越金	0	0	0
書籍売上	150,000	289,200	139,200
合計	150,000	289,200	139,200

支出の部

科目	予算	実績	増減
販売経費(パンフ・送料等)	10,000	5,104	▲ 4,896
期首棚卸し資産	280,500	280,500	
期末棚卸し資産	2,527,500	51,000	
合計	△ 2,237,000	234,604	
次年度繰越金		0	

期末棚卸し資産内訳

既刊本	0
HB改訂版	51,000 (在庫数2冊)
合計	51,000

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

資産の部	
科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金	431,263
普通預金	13,797,327
定期預金	12,222,773
出版物棚卸し資産	51,000
立替金(職員年末調整)	0
前払い費用	0
未収入金	362,869
合計	26,865,232

負債・純資産の部	
科目	金額
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払い金	143,594
前受け金	3,931,922
預かり金	54,760
2. 固定負債	
負債の部合計	4,130,276
III. 純資産の部	
1. 別途積立金	18,900,000
2. 表彰資金積立金	1,855,232
3. 繰越利益剰余金	
前期繰越利益	4,023,694
表彰資金積立金取崩額	200,000
当期利益	-2,243,970
(次年度繰越金)	1,979,724
合計	26,865,232

以上の通り報告申し上げます。

2024年(令和6年)5月29日

一般社団法人日本太陽エネルギー学会

会長 秋澤 淳

損益計算書(全勘定)

自：2023年4月1日
至：2024年3月31日

収入の部

(単位：円)

	非収益事業	収益事業	合計	備考
1. 会費収入	10,885,400		10,885,400	
団体	4,650,000		4,650,000	
個人	5,574,600		5,574,600	
シニア	149,800		149,800	
学校	10,000		10,000	
学生	438,000		438,000	
入会金	63,000		63,000	
2. 事業収入	3,363,449	2,017,430	5,380,879	
学会誌		1,602,614	1,602,614	定期購読・論文掲載・広告
書籍		297,261	297,261	ハンドブック
各種部会講演会・見学会	544,504		544,504	含関西支部
ソーラーカー講習会	544,400	82,500	626,900	ハイブリッド開催
研究発表会登録費等	1,431,000		1,431,000	泉佐野市開催
見学会・懇親会等	353,000		353,000	
論文集売上げ・広告		30,200	30,200	
研究発表会助成金	242,284		242,284	
雑収入・その他	48,000		48,000	
著作権料		4,818	4,818	
特別会計収入(表彰資金)	200,000		200,000	
受取利息	261	37	298	
雑収入	0	0	0	
合計	14,248,849	2,017,430	16,266,279	

支出の部

管理費は非収益事業収入と収益事業収入から按分した

	非収益事業	収益事業	支出合計	備考
1. 事業支出	2,028,573	6,113	2,034,686	
諸会費(会費・協賛金)	123,500		123,500	ソーラーシステム振興協会他
雑費	11,330		11,330	会費引落/ニコス事務手数料
部会支出	276,445		276,445	
ソーラーカー製作講習会	309,848		309,848	ハイブリッド開催
研究発表会開催費	568,303		568,303	泉佐野市開催
研究発表会見学会等	329,000		329,000	
論文集J-Stage掲載料	410,147	6,113	416,260	
その他経費			0	
2. 管理費	14,083,151	2,122,412	16,205,563	
職員給与	5,555,873	786,632	6,342,505	
福利厚生費・法定福利費・保険料	179,928	25,477	205,405	
広告費・HP維持費	116,105	27,038	143,143	
会議費(総会・理事会)	252,543		252,543	
会議費(その他)			0	
通勤交通費	259,783	36,782	296,565	
通信費	270,691	38,327	309,018	電話料・郵送料等
消耗品・雑費	81,485	11,539	93,024	含振込手数料, コピー料
水道光熱費	82,319	11,656	93,975	
賃借料	1,366,520	193,480	1,560,000	
リース料	781,101	110,593	891,694	
学会誌制作費	4,102,091	580,798	4,682,889	原稿料・封筒代含む
書籍印刷・発送費		234,604	234,604	
支払い報酬(会計事務所)	462,514	65,486	528,000	会計事務所
学会賞	436,398		436,398	
貸倒損失	135,800		135,800	2022年度会費回収不能額
合計	16,111,724	2,128,525	18,240,249	
税引前当期利益	▲ 1,862,875	▲ 111,095	▲ 1,973,970	
		70,000	70,000	2022年度(R4年度)分事業税
当期純利益	▲ 1,862,875	▲ 181,095	▲ 2,043,970	

2023 年度(令和 5 年度)会計監査報告書

一般社団法人日本太陽エネルギー学会

会長 秋澤 淳 殿

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 2023 年度(令和 5 年度)(2023 年 4 月 1 日より 2024 年 3 月 31 日)の収支決算報告書について一般社団法人日本太陽エネルギー学会定款 第 41 条に基づき、決算書、帳簿、伝票、証憑書類を監査した結果、適正に処理、記載されていることを確認した。

2024 年 5 月 7 日

監事 相曾一浩

監事 原 人志